

塩見川堤防の 除草・ごみ拾い

日向、建和会が
河川アダプト活動

日向地区建設業協会のうち、日向市内の加盟業者でつくる「建和会」(高山修会長)は6月26日、同市財光寺の塩見川堤防で「河川アダプト活動」として、除草やごみ拾いなどに取り組ん

だ。

加盟38社から1人ずつ参加し、縁開橋から中原橋までの右岸約500mの区間を分担。刈り払い機で生い茂った草を手際よく刈り取り、熊手や建設機械などを使って集積するとともに、空き缶などごみ拾いも行った。

アダプトは「養子縁組をする」という意味の英語で、



河川アダプト活動で除草作業に取り組む「建和会」の会員ら。6月26日、日向市財光寺の塩見川右岸堤防

同制度は県と協定を結んだ賛同企業がわが子のように責任と愛情を持って、堤防や道路など公共空間の環境美化活動を継続する仕組み。県がボランティア活動を支援し、官民協働による河川管理の推進などを図ろうと2017年度に導入した。

県日向土木事務所管内では、建和会と旭建設(日向市)、西の丸グループのボランティア組織「一善の会」が認定されている。3団体はそれぞれの指定区間で年2回、清掃活動を行っている。